

令和2年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施設名	温水プール・体育館・武道館・スポーツルーム・駐車場全10施設
所管部(局)課	都市活力部 スポーツ振興課
指定管理者	公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団・ 公益財団法人フィットネ21事業団共同事業体

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1	基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか 市の施策全般を理解し協力しているか 地方自治法等の関連法令を遵守しているか 施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか	指定管理者として適正である。	B
2	サービス水準・施設効用の発揮	屋内体育施設利用者数（大をめざすもの） 苦情件数（小をめざすもの） 施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか 利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか	最高評価サービス水準値；908,915人 確保すべきサービス水準値；848,812人 実績値；470,385人 実績値が確保すべきサービス水準を下回っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、4月1日から6月2日までの施設の休館やスポーツ教室の中止、外出自粛の影響等に加え、千里体育館、柴原体育館、高川スポーツルームの空調工事や二ノ切温水プールの建替えのための休館による利用者数の減少を勘案すると、改善を要する運営状況と評価する値ではないと判断する。 最高評価サービス水準値；年間を通して1件以内/月 確保すべきサービス水準値；年間をとおして4件以内/月 実績値；年間を通して2件以内/月 確保すべきサービス水準を達成したことが評価できる。 工事期間の変更や新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館などで当初の事業計画から大幅な変更があったが、教室定員の見直しや、他施設での代替教室を実施するなど、参加者の運動機会をそこなわないように努められた。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		使用許可の判断等を公平公正に行っているか 安定して確実に日常業務を遂行しているか 創意工夫ある独自企画事業を展開しているか		
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	公益財団法人の財務については、公益認定基準の中で財務に関する3基準（①「収支相償」②「公益目的事業比率」③「遊休財産額保有制限」）があり、左記の評価ポイントにより評価することは適切でないため、当該事項については、評価対象外とする。	—
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か 地域の市民との関係は良好か	アンケート結果の接遇について、不満（やや不満＋おおいに不満）の割合が0.3%とサービス水準合意書における最高評価サービス水準（1%以内）を達成したことが評価できる。	B
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	従業員のワークライフバランスを図るため、市に準じた各種休暇制度、育児休業制度及び介護休業制度を整備されており、また、所属長との面談を行うことにより、各人の職務目標の決定と、従事者の現状と目標を相互理解し、働きがいを持って業務に従事できる制度を整えられている点が評価できる。	B
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	個人情報のマニュアルに沿った対応ができているかをチェックする点検評価の体制の構築や、情報セキュリティ管理マニュアルに沿った情報セキュリティ管理体制を構築されたことなど、個人情報保護の体制が適正に整備されている。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	- 各施設において年1回以上防災訓練を実施し、参加率についても100%（補講者含む）とサービス水準合意書における最高評価サービス水準を達成したことが評価できる - 新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、緊急事態宣言が発令した期間（4月～5月）については、出勤時間、日数を減らすなど、勤務体制を見直された。 - 施設の感染症対策として、手指消毒薬の設置、使用器具の消毒などを実施し、利用者への感染症対策を徹底された点が評価できる。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
	総合評価		・問題のない管理運営状況である。 ・工事期間の変更や新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館などで当初の事業計画から大幅な変更があったが、教室定員の見直しや、他施設での代替教室を実施するなど、参加者の運動機会をそこなわれないように努められた。	B

(評価の基準)

A ; 優れた管理運営状況である
 B ; 問題のない管理運営状況である
 C ; 改善を要する管理運営状況である